

## 巻頭言 1

エドナ・セント・ヴィンセント・ミレー 小澤英実 訳 4

石垣りん 5

ルシア・ベルリン「掃除婦のための手引き書」岸本佐知子 訳・解説 9

多和田葉子「空っぽの瓶」<sup>ポトル</sup>松永美穂 訳 21

津村記久子「誕生日の一日」 24

佐藤文香「神戸市西区学園東町」 30

イーユン・リー「かくまわれた女」篠森ゆりこ 訳 34

小山田浩子「蟹」 47

井上佐由紀 53

伊藤比呂美「夏のおわり。秋のはじめ。」 61

今橋愛「そして」 65

文月悠光「発動せよ」 73

中山奈々「0-157」 77

東直子「青葡萄」 80

左川ちか 82

松田青子「許さない日」 86

ロクサーヌ・ゲイ「わが父の死去にあたり」野中モモ 訳 89

イ・ラン「韓国大衆音楽賞 トロフィー直売女」Ko Younghwa 訳 92

堀越英美「女の子が文学部に入るべきでない5つの理由」 99

山崎まどか

「私はいかに心配するのをやめて、フェミニストと名乗るようになったか。」 103

石垣りん 109

中島みゆき 117

蜂飼耳「彼女の中の女」 122

井上法子「素直に届けられる夜」 125

永瀬清子 127

盛田志保子「季節に」 135

川口晴美「世界が魔女の森になるまで」 137

早坂類 146

茨木のり子 148

古谷田奈月「無限の玄」 153

雪舟えま「俺たちフェアリーにいる(短歌版)七十七首」 203

松井啓子「のどを猫でいっばいにして」 210

ノラ・ゴムリンガー 松永美穂 訳・解説 212

ヴァーヅニア・ウルフ「ロンドン散策——ある冒険」片山亜紀 訳・解説 228

エドナ・セント・ヴィンセント・ミレー 小澤英実 訳・解説 241

葛原妙子 253

中島悦子「被流の演技」 255

安立スハル 259

鈴木しづ子 261

鈴木晴香「生まれてきた日を覚えていない」 263

野口あや子「エレクトラ・ハレーション」 265

神田さよ「鎮める」 268

齋藤史 271

吉原幸子 273

池田澄子 280

最果タヒ「白い花」 282

銀色夏生「壁と満月」 284

CRY IN PUBLIC マニフェスト 286

ジン・リース「ジャズと呼ばせておけ」堀江里美 訳 288

村田沙耶香「満潮」 304

盛可以「経験を欠いた世界」河村昌子 訳・解説 329

藤野可織「私はさみしかった」 343

今村夏子「せとのママの誕生日」 354

おさないひかり「柔らかい、つるつるの毛の生えた soft, sleek hair is growing」 368

川上未映子「変奏」 374

栗木京子 378

黒田夏子「るす絵の鳥」 379

樋口一葉「大つごもり」川上未映子 訳 386

小平麻衣子 「林芙美子・へ赤裸々」の匙かげん——『放浪記』の書きかえをめぐる——」 397

江南亜美子 「21世紀の女性作家たち」 404

豊彩夏 「変身——松浦理英子『親指Pの修行時代』、女の子たちのパロディ的カルチャーについて——」 415

岩川ありさ 「クィアな自伝——映画「ムーンライト」と古谷田奈月『リリース』をつないで」 436

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ

「イジエアウエレへ——あるいは十五の提案に込めたフェミニストの「マニフェスト」くぼたのぞみ」訳 445

柴田英里 「いつまで『被害者』でいるつもり?——性をめぐる欲望と表現の現在」 468

橋爪彩 495

haru. 「ふっかの誰かさんへ」 501

菅野つかさ+中西歩乃歌 (Scarlet&June)+野中モモ+川上未映子

「インディペンデントメディアという「場」」 503

桐野夏生+川上未映子 「女性と地獄」 513

小澤英実+倉本さおり+トミヤマユキコ+豊崎由美 司会…斎藤美奈子

「われわれの読書、そのふたつの可能性」批評と書評」 524

フェミニズムと女性に近づくかもしれない23冊 539

栗木京子 554

葛原妙子 555

再録出典一覧

執筆者一覧

549

550